

## 実施要領等に関する回答書

令和6年5月9日

福島県経営金融課長

業務名	ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業	
資料該当箇所	質問事項	回答事項
募集要領P. 3	7 公募型プロポーザル参加申込及び参加資格審査 今回、事業者（仙台市）の配下でグループ会社である弊社（福島市内の福島支店）がプロポ参加とし、その業務を別会社に業務委託することを検討しているが、そのスキームでの参加は可能か	プロポーザルに参加する事業者において募集要領4の参加資格要件の全てを満たす必要があります。また、再委託については、県から承認を得た場合に限り認められるものであり、一括再委託と認められる場合、再委託額の積算が不透明である場合など、再委託を承認しないこともあります。
業務委託仕様書 P. 1	4-(1)DX理解促進・普及啓発セミナー 企業向けセミナー（DX初期、高度）を開催する際、会場予約・確保は誰が担うことになりますでしょうか。 （福島県様指定会場での実施となるのか）	会場選定も含めて、受託者が担うことになります。
業務委託仕様書 P. 1, 2	4-(1)DX理解促進・普及啓発セミナー セミナーは3回（3方部で各1回）と書かれていますが各方部に合わせた内容に変更することは可能でしょうか。	可能です。
業務委託仕様書 P. 2	4-(2)専門家による伴走支援プログラム 支援期間は7か月で2月成果発表までに支援期間が終了していただかなければならないでしょうか。	成果発表会で先進・優良事例を発信できるのであれば、伴走支援対象企業の全てが発表会までに支援を完了していることまでは要しません。

<p>業務委託仕様書 P. 2</p>	<p>4-(2)専門家による伴走支援プログラム 成果発表会が終わった後も伴走支援が続く場合、成果発表会後の伴走支援は支援期間7か月に含まれるのでしょうか。</p>	<p>支援期間の7ヶ月に含みます。</p>
<p>業務委託仕様書 P. 2</p>	<p>4-(2)専門家による伴走支援プログラム 期間は決まっていますが伴走支援対象の事業者様との面談回数(月2回など)など想定がございましたらご教示ください。</p>	<p>伴走支援対象事業所の経営課題に応じた支援につき、一概に月に何回程度との想定はありません。参考までに、令和5年度の伴走支援の実績値の平均としては、約5.5ヶ月の支援期間で、面談回数(WE B含む)は約14回となっています。</p>
<p>業務委託仕様書 P. 3</p>	<p>6-(2) 広報活動 本業務広報用Webページの作成について、貴県Webサイト上に作成するページという認識でよろしいのでしょうか。また、その場合にはどのように納品するようになりますでしょうか。 もしくは、受託者側で用意するドメインでの作成でしょうか。</p>	<p>受託者がドメインの用意も含めて特設ホームページを作成することになります。福島県経営金融課のホームページには、特設ホームページへのリンク等を掲載するのみとなります。</p>